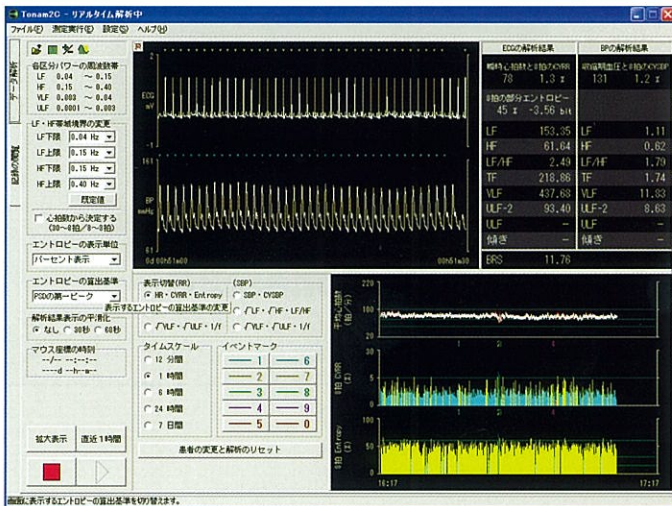


心拍・血圧・ゆらぎリアルタイム解析プログラム

MemCalc/Tonam2C

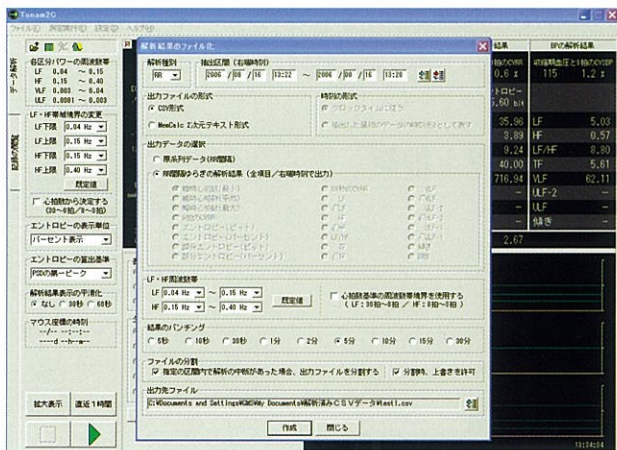
自律神経系の指標として幅広く用いられている1心拍毎のR-R間隔変動(HRV)と最高血圧の変動(BPV)をリアルタイムに解析します。8拍のエントロピー、LF、HFなどの短時間相関からULF、1/f ゆらぎのような長時間相関までを解析・保存するシステムです。



● リアルタイム解析画面

- 解析結果は5秒毎に更新されます。
- 不整脈検出アルゴリズムにより、不整脈は自動的に外れ値処理をして解析されます。
- 心電図、血圧波形データ、解析結果は自動的に保存されます。
- 7日まで連続測定ができ、過去のデータの推移をトレンドグラフで確認できます。
- リアルタイム解析中は0~9の10種類のイベントマークを入力することができます。

解析結果	RR解析結果	LF解析結果	HF解析結果	TF解析結果	ULF解析結果	1/f解析結果
1	78	1.3	1.1	0.82	1.74	8.63
2	153.35	1.11	0.82	1.74	11.83	8.63
3	81.64	1.11	0.82	1.74	11.83	8.63
4	2.40	1.11	0.82	1.74	11.83	8.63
5	218.88	1.11	0.82	1.74	11.83	8.63
6	437.88	1.11	0.82	1.74	11.83	8.63
7	93.40	1.11	0.82	1.74	11.83	8.63
8	11.70	1.11	0.82	1.74	11.83	8.63



● 保存されるデータの種類

■ 心電図波形、血圧波形、R-R間隔データ、最高・平均・最低血圧時系列データ、解析結果(5秒毎)

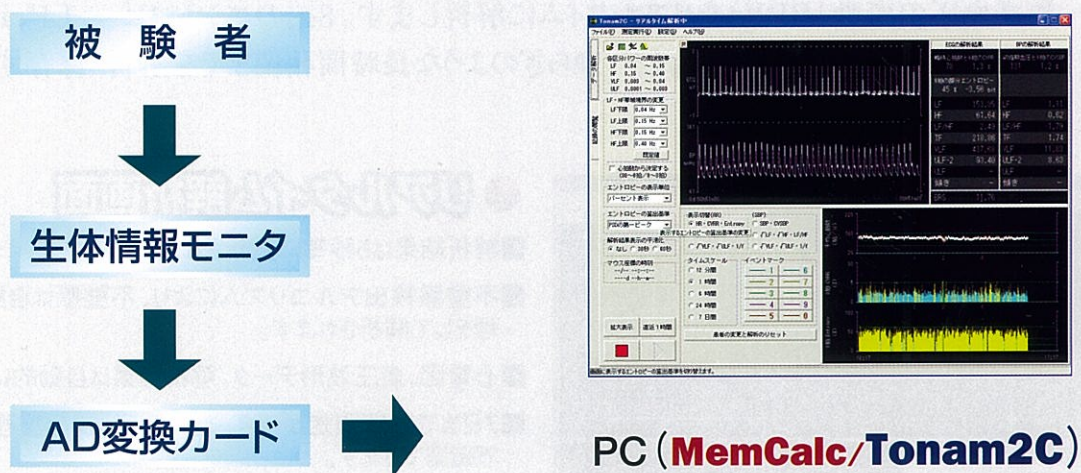
- 保存された心電図・血圧波形、解析結果は任意の時間で区切って保存することができます。また、一度保存されたデータは自動的に消去されることはありません。

■ 最短5秒の解析結果を出力できます。ICUなどで長時間にわたる測定結果は、最大30分までの時間で平均して出力することが可能です。



データの取り込み ▶▶▶

心電図波形、血圧波形の取り込みは、測定器から出力されるアナログ波形をAD変換して行います(アナログ出力が可能な測定器が必要です)。



- 本プログラムは Windows Vista/7/8 に対応しています(A/D変換のみ64bit未対応)。
CPUはOSが軽快に動作するもの、RAMはOSが軽快に動作するに必要な容量以上の環境でご使用ください。

MemCalc/Tonam2C動作環境

OS: Windows 2000、XP Home/Professional、Vista

CRT/LCD: 1024×768ピクセル以上256色以上

CPU: Pentium III 800MHz以上

RAM: 512MB以上 1G推奨

HDD: インストール先に200MB以上の空き 60GB以上推奨

ディスク消費量の例

1日……60MB

1週間……400MB

1箇月……2GB

1年……22GB

PCIスロット: PCIボードを使用する場合1スロット必須

PCカードスロット: PCカードを使用する場合1スロット必須(Card Bus)

USBポート: セキュリティーキー用に1ポート(USB1.1/2.0)

CD-ROMドライブ: インストール用に1ドライブ

MemCalc/Tonam2C 開発: 有限会社諏訪トラスト



株式会社ジー・エム・エス

〒151-0071

東京都渋谷区本町3-10-3 清水橋矢部ビル201

TEL 03-5388-4875 FAX 03-5388-4953

http://www.gms-jp.com/ E-mail support@gms-jp.com